

## 第 3 9 4 回 役 員 会 議 事 要 録

1. 日 時 平成 2 8 年 5 月 3 0 日 ( 月 ) 自 1 5 時 3 0 分 至 1 6 時 1 5 分
2. 場 所 学 長 室
3. 出席者 中井学長、中田理事 ( 副学長 )、三浦理事 ( 副学長 )、  
小沢理事 ( 副学長 )、若井理事・事務局長  
【オブザーバー出席】真田副学長、千葉副学長、上井監事
4. 審議事項
  - ( 1 ) 第 2 期 中 期 目 標 期 間 に お け る 教 育 研 究 評 価 に つ い て 資料 1
  - ( 2 ) 「 期 末 手 当 及 び 勤 勉 手 当 の 取 扱 い に つ い て の 申 合 わ せ 」 の 一 部 改 正  
について 資料 2
  - ( 3 ) 平成 2 8 年 熊 本 地 震 災 害 義 援 金 に つ い て 資料 3
  - ( 4 ) 国 際 原 子 力 機 関 と 福 島 大 学 環 境 放 射 能 研 究 所 と の 環 境 分 野 に お け る  
研究協力に関する協定締結について 資料 4
  - ( 5 ) その他
5. 報告事項
  - ( 1 ) 平成 2 7 年 度 学 生 教 育 支 援 基 金 に よ る 支 援 事 業 実 施 報 告 に つ い て 資料 5

### 【確認事項】

第 3 9 3 回 役 員 会 議 事 要 録 を 確 認 し、原 案 の と お り 承 認 さ れ た。

### 【審議事項】

- ( 1 ) 第 2 期 中 期 目 標 期 間 に お け る 教 育 研 究 評 価 に つ い て  
中田理事より標記について提案があり、資料 1 に基づき、研究業績説明書について、  
第 3 9 1 回 役 員 会 ( 4 月 1 8 日 開 催 ) 以 降 文 言 の 修 正 を 行 っ た た め、本 役 員 会 に お い  
て 最 終 確 認 い た だ き た い と の 説 明 が あ っ た。  
続 いて、2 学 群 4 研 究 科 の 現 況 調 査 表 ( 教 育 ) ( 以 下、「現 況 調 査 表」という。) 及 び  
中 期 目 標 の 達 成 状 況 報 告 書 ( 以 下、「達 成 状 況 報 告 書」という。) に つ い て、作 成 状 況  
及 び 記 載 内 容 を 確 認 い た だ き た い 旨 説 明 が あ っ た。  
審 議 の 結 果、原 案 の と お り 承 認 さ れ、今 後 の 手 続 き と し て、現 況 調 査 表 及 び 達 成 状 況  
報 告 書 に つ い て は、教 育 研 究 評 議 会 で 審 議 し、学 内 パ ブ リ ッ ク コ メ ン ト 募 集 を 行 っ た  
う えで、経 営 協 議 会 の 議 を 経 る こ と が 確 認 さ れ た。ま た、研 究 業 績 説 明 書 に つ い て は、  
5 月 3 1 日 ま で に 大 学 評 価 ・ 学 位 授 与 機 構 に 提 出 す る こ と が 確 認 さ れ た。
- ( 2 ) 「 期 末 手 当 及 び 勤 勉 手 当 の 取 扱 い に つ い て の 申 合 わ せ 」 の 一 部 改 正 に つ い て  
中田理事より標記について提案があり、資料 2 に基づき、期末・勤勉手当における  
役職加算対象部局長等について、組織改編の都度改正が必要となっていたことから、

統一的な表記に改めたい旨説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(3) 平成28年熊本地震災害義援金について

若井理事より標記について提案があり、資料3に基づき、全教職員から募った総額862,152円の義援金の配分方法について、日本赤十字社「平成28年熊本地震災害義援金」等4か所にそれぞれ15万円支援すること、今後の復旧・復興の状況に応じた支援を行うことも想定し、一部を本学で留保したいこと、その上で、半年後改めて留保分の取り扱いを判断したいこと等の説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認され、今後の手続きとして教育研究評議会に報告することが確認された。

(4) 国際原子力機関と福島大学環境放射能研究所との環境分野における研究協力に関する協定締結について

難波環境放射能研究所長より標記について提案があり、資料4に基づき、協定の概要及び研究協力に関する内容について説明があった。また、本協定により研究をすぐに開始するわけではないこと、本協定締結により義務が発生するものではないこと、本協定が外部資金獲得にあたって優位な要素となることを期待しているとの補足説明があった。

審議の結果、一部文言修正の上承認された。

(5) その他

なし。

**【報告事項】**

(1) 平成27年度学生教育支援基金による支援事業実施報告について

若井理事より標記について報告があり、資料5に基づき、3つの支援事業の執行額、差し引き過不足額、得られた成果について説明があった。

なお、平成27年度支援事業について、内容が一部重複していると見える事業があったことを踏まえ、平成28年度支援事業の採択にあたっては、類似した事業を関係課で調整していただいた上で決定したとの補足説明があった。